

裁判員等経験者との意見交換会



裁判所ナビゲーター さいたん

—さいたま地方裁判所—

令和5年3月16日、裁判員等経験者と法曹三者（裁判官、検察官、弁護士）、そして今回は高校生にもお越しいただき、模擬裁判、模擬評議、質疑応答などを行いました。

裁判員等を経験したときの感想



経験者

裁判官が「〇番さんはどうですか？」と毎回振ってくれて意見を言いやすかった。



経験者

裁判員等の中ではかなり若手だったが、他の裁判員等の方が帰り際に声をかけてくれるなど、雰囲気がとても良くて意見も言いやすかった。

普段の生活では考えないようなことについて判断する不安は？



検察官



経験者

薬物事案だったが不安はなかった。むしろすごく興味深いと感じていた。



経験者

最初はどのようなかと思っていたが、みなさんの意見を聞きながら、自分なりの最終的な意見を言えるようになった。

弁護人の最終弁論に関する印象やご意見は？



弁護士



経験者

話された内容が多く、少しわかりづらかった。



経験者

とてもドラマティックに話されるのでひきつけられた。パワーポイントが分かりやすかった。

模擬裁判、模擬評議を経験してみたの感想



思ったより自由に発言できていい経験だなと思った。



年上の方の意見を聞くことができ、学ぶことも多く、考えが深まってよかった。



高校生がものすごくしっかり発言していたので圧倒された。自分が若いころはこんなに考えて意見を言うことはできなかったが、若い世代は小さいころから人前で話す授業もあたりるので、そういうこともできるのかなと思った。



話し合いが苦手でも、場の雰囲気話しやすい感じで安心できた。

質疑応答

長い裁判だと裁判員同士仲良くなって、意見を言いにくくならないか？



仲良くなっても自分の意見は言った。他の人と意見が違うけど賛同する、ということにはならないと思う。



一人一人違う意見を述べており、自分の意見が言いにくくなることはなかった。

その他、法曹という仕事に関するご質問等もいくつかいただきました。

意見交換会を終えてー裁判官よりー

実際の事件では具体的な情報が明らかになるので、本日よりも一層意見を言いやすいと思います。制度開始後、裁判官も裁判員の方々の意見をお聞きし、活発な意見交換をし、視点が広がったことが、常識に根差したよい判決につながっていると感じています。法曹三者は分かりやすい裁判を実現すべく努力を重ねていますので、安心してご参加ください。

ご参加くださった皆様、貴重なご意見をどうもありがとうございました。

